

書写	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果				
東書					
<p><b>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</b></p> <p>教材を3段階からなる「学習の手引き」で構成し、「練習」において技能、「資料」において知識を応用し、「生活を広げよう」において実践できるよう、系統的・発展的な学習ができるよう配慮されている。職場体験の依頼状や礼状、地域行事への案内状、防災マップ、エアメールの書き方など、地域社会や国際的なつながりを大切にした題材を取り上げ、相手に分かりやすく伝える力を養うよう配慮されている。古典の名文や旧暦の月名、二十四節気の手本など、我が国の伝統、文化を尊重し、郷土愛を育むよう配慮されている。毛筆教材において、インデックスを用いることで学習内容を生徒自身が確認できるように配慮されている。</p> <p>《⑥⑦⑧⑨》</p>					
<p><b>2. 教育基本法に基づく観点</b></p> <p>古典教材の視写、年賀状、書初めなど、我が国の伝統と文化を尊重するような教材が取り上げられており、中国の代表的な古典においても、なぞり書きをさせる教材があり、伝統的な文や文字に親しめるよう配慮されている。用具、用紙の製作工程を取り上げ、伝統的な産業について郷土を愛する心を育むよう配慮されている。日本の四季に関する言葉や写真が取り上げられており、自然を大切にし、生命を尊ぶ態度を養うよう配慮されている。</p> <p>《③⑤》</p>					
<p><b>3. 学習指導要領に基づく観点</b></p> <p>小学校の楷書の学習から導入し、行書、行書に調和する仮名、楷書と行書の選択、身の回りの文字、というように段階的に書写の技能が身につくように配慮されている。全教材に、「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階からなる「学習のてびき」を設け、生徒が意欲的、主体的に学習できるように配慮されている。行書の導入は、4つの動きで展開され、筆使いの表現方法に擬声語を使用し、実践的で分かりやすく工夫されている。書写を生かした、全国各地の石碑や看板の写真が多数示されており、身の回りの多様な文字に関心を持つよう配慮されている。</p> <p>《⑤⑨⑩⑬》</p>					
<p><b>4. 外的要素に関する観点</b></p> <p>カラーバリアフリーの観点から、配色、文字の大きさなどに工夫が見られる。押し絵やイラストが豊富であり、多様な写真が取り上げてあるので、親しみやすいデザインになっている。判型の横幅が広く、ワイドな紙面になっているため見やすいように工夫されている。</p> <p>《①②③》</p>					
<p><b>5. 構成・配列に関する観点</b></p> <p>1年生で楷書の毛筆・硬筆、2・3年生で行書、フェルトペンの使い方が取り上げられており、系統的に配列されている。「生活に広げよう」「生活を豊かにする文字」などの教材を取り上げ、習得した書写技能が、日常生活、社会生活に応用できるように配慮されている。</p> <p>《①②③④》</p>					
<p><b>6. 資料その他に関する観点</b></p> <p>各教材に「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階の「学習のてびき」において、3人のキャラクターを登場させ、生徒が興味、関心を持って学習できるように工夫されている。教材において、3人のキャラクターがヒントを出し、生徒が意欲的、主体的に学習できるように配慮されている。</p> <p>《①②③》</p>					

書写		教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果			
学図					
<p><b>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</b></p> <p>「篆刻・いろは歌」「時代と文字」「書き文字と活字」が取り上げられており、我が国の伝統、文化を尊重し、次世代に伝える力を育むよう配慮されている。作品制作のあとに「おさらいをしよう」があり、各単元で学習した内容を、生徒それぞれの目標や課題に応じ、再確認や復習することができるよう配慮されている。手本に籠字で筆脈や注意すべきところ、書き順などが示されており、説明が分かりやすく解説されているため、生徒が意欲的、主体的に学習できるよう配慮されている。自己評価の観点を確認できるコーナーが設定されており、学ぶ意欲を高めることができるよう配慮されている。</p> <p>《⑥⑦⑧》</p>					
<p><b>2. 教育基本法に基づく観点</b></p> <p>手本文字として示した言葉「自主独立」「理想は高く」を通して、創造性や自主及び自立の精神を養えるよう配慮されている。自然に関する写真が使われて、「山紫水明」や「ぶなの森」などの手本文字を取り上げ、自然のありさまに思いをはせる心が育つよう配慮されている。コラム「時代と文字」は、文化に多く触れさせ、幅広い知識と教養を身に付けるよう配慮されている。実物大の手本により、生徒が学習しやすいよう工夫されている。</p> <p>《④⑥》</p>					
<p><b>3. 学習指導要領に基づく観点</b></p> <p>古典作品である「九成宮醴泉銘」や「蘭亭序」を資料としてあげ、生徒が興味、関心を持ち、発展的な学習ができるよう配慮されている。いろは歌の手本に、元の漢字と行書で書かれた字が掲載されており、ひらがなの変遷を学ぶとともに、行書を身近なものとしてとらえるよう配慮されている。3年間の学習の中で、文字を正しく整えて速く書くことができるようにし、書写の能力をほかの教科の学習や、日常生活に役立てるよう配慮されている。</p> <p>《⑤⑨⑩⑪》</p>					
<p><b>4. 外的要素に関する観点</b></p> <p>書き初めの手本が取り外し可能となっており、手本を近くにおき、集中して練習に励むことができるよう工夫されている。毛筆学習の直後に書き込み欄をつけた硬筆教材を配置し、硬筆と毛筆両方の技能が習得するように工夫されている。</p> <p>《①②③》</p>					
<p><b>5. 構成・配列に関する観点</b></p> <p>古典作品が豊富に紹介されており、生徒の興味、関心を引き出すよう工夫されている。「書写の窓」の古典作品や表紙裏の「身の回りの書き文字を探そう」など、資料が豊富である。国語で学習する内容（四字熟語）が取り上げられているため、書写と国語の連携が図られている。</p>					
<p><b>6. 資料その他に関する観点</b></p> <p>古典作品が臨書体験できるようになっており、生徒が家庭でも自主的に学ぶことができるよう工夫されている。多くの作品から段階に応じて、学年を意識した手本を選び、偏りなく作品が取り上げられるよう工夫されている。書き込める箇所が多く、和の文化を想像させる表紙絵もあり、生徒に興味、関心を持たせるよう工夫されている。</p> <p>《①②③》</p>					

書写		教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果			
三省堂					
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点					
<p>「書いたものを交流する」により、伝え合う力を高め、豊かな人間性と創造性を備えることができるよう配慮されている。書写をコミュニケーションの観点でとらえ、相手や場面に応じた効果的な文字の書き方を身につけることができるよう配慮されている。日常生活で、さまざまな筆記具を活用することをふまえ、筆以外の筆記具についても取り上げられているため、書写が苦手な生徒にも関心を持たせるよう配慮されている。授業のノートの余白を多めにとり、見出しを大きく書くなどして、文字が読みやすくなり、生徒が創意工夫して学習できるよう配慮されている。単に書写技能を習得させるだけでなく、目的や読み手に適した「考える書写」を目的としているところが配慮されている。</p> <p>《①②③④⑤》</p>					
2. 教育基本法に基づく観点					
<p>基礎・基本の確実な習得による、伝統的な文化としての書写の衰えを鑑み、普段書く文字の向上や読み手に効果的に伝える力の向上に配慮されている。「授業で書いたものを友人と交流する」や「友達作品から学ぶこと」を取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うよう配慮されている。日本の用具の発達と文字の変化や、筆、紙、墨、硯ができるまでの変遷をあげること、我が国の郷土と伝統を尊重するよう配慮されている。字形例を見ずに書く活動があり、創造性を培うよう配慮されている。</p> <p>《①②③④⑤》</p>					
3. 学習指導要領に基づく観点					
<p>行書を学ぶことにより、楷書だけでなく、電話のメモや国語の授業での漢字テストなど、普段の生活の中から、読み手や目的、状況を判断して書く力を身に付けるよう配慮されている。原稿用紙や学校の掲示物の書き方など、身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的な文字を書くように配慮されている。いろは歌の手本は、漢字からひらがなになるまでの過程を示し、ひらがなの変遷について学べるよう工夫されている。行書の特徴について、筆使い、省略や筆順の変化などを確かめながら、学習できるよう配慮されている。</p> <p>《⑨⑩⑪》</p>					
4. 外的要素に関する観点					
<p>小筆と大筆それぞれの特性がわかるよう、写真や説明が工夫されている。書初めの手本が取り外すことができ、手本を近くにおいて作品を書くことができるよう配慮されている。挿し絵が豊富であり、生徒に興味、関心を持たせるよう工夫されている。扉ページや手渡し和紙のデザインが美しく、親しみやすいよう工夫されている。</p> <p>《①②③》</p>					
5. 構成・配列に関する観点					
<p>手紙の書き方で、便箋や封筒の使い方、時候のあいさつなど、目的や必要に応じた文字を書くように工夫されている。日常生活の中の書や用具、用途の違いの説明があり、分かりやすいように工夫されている。3年間を見通し、段階に応じた内容を、振り返りながら学習できるよう配慮されている。</p> <p>《①②③》</p>					
6. 資料その他に関する観点					
<p>宅配便の荷物の送り状、のし袋など、日常生活に役立つものが取り上げて工夫されている。入試の願書の書き方を取り上げ、生徒の興味、関心を引くよう工夫されている。鑑賞することを楽しみ、書之美しさと表現効果を味わい、感じ取ることで発展した内容を学習するよう工夫されている。</p> <p>《①②③》</p>					

書写		教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果			
		教出			
<p><b>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</b></p> <p>学習内容や書き方の手順が明確に示されており、生徒が主体的、主体的に学習できるよう配慮されている。職場体験の礼状、ボランティア活動のスピーチメモ、ALTへのインタビューメモ、エアメール、防災訓練の講師へのお礼など、地域の人々や国際的なつながりを基盤とした、道徳心・社会性の育成についての教材が配慮が設けられている。「選択課題」の教材が取り上げられており、生徒それぞれの課題に合わせて学習ができるよう配慮されている。色紙の特性を踏まえた配色、レイアウト、文字などの工夫がみられ、書くプロセスが分かりやすいよう配慮されている。            《⑧⑨⑩》</p>					
<p><b>2. 教育基本法に基づく観点</b></p> <p>古典教材、文字の歴史、筆、墨、硯、紙の作り方や生産地などを取り上げ、我が国の伝統、文化を尊重し、郷土愛の育成に配慮されている。色紙や短冊などの伝統的な教材を取り上げることで、伝統的な文字文化に親しめるよう配慮されている。ポスター、新聞、礼状、案内文などを取り上げ、幅広い知識を身に付けさせ、社会生活に活用できるよう配慮されている。            《③⑤》</p>					
<p><b>3. 学習指導要領に基づく観点</b></p> <p>各単元を「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の3段階に分け、学習内容や書き方の手順を明確にし、「考えよう」で思考力や想像力を養うよう配慮されている。1年生で楷書と仮名の調和、2年生で行書と仮名の調和を取り上げ、段階的に学習できるよう配慮されている。3年生では「芸術としての書道」を取り上げ、高等学校への円滑な接続を意識して学習ができるよう配慮されている。            《⑤⑨⑩⑬》</p>					
<p><b>4. 外的要素に関する観点</b></p> <p>行書において、穂先の動きがイラストで説明されていたり、運筆を理解させるために二色の薄墨による解説図版を用いたりしたりの工夫が見られる。挿し絵、写真などが豊富で、配色、イラストにも工夫が見られ、生徒の興味、関心を持たせるよう工夫されている。            《①②③》</p>					
<p><b>5. 構成・配列に関する観点</b></p> <p>「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」など、小学校書写との関連が見られ、楷書から行書へと段階に応じて書くことを意識した内容になっている。手紙、封書、包み紙、エアメール、原稿用紙、伝票など、社会生活・日常生活に必要な書き方の例が取り上げられ、社会参画に配慮された教材が設けられている。            《①②③》</p>					
<p><b>6. 資料その他に関する観点</b></p> <p>伝統的な文字を取り上げ、防災教育、環境教育、キャリア教育についての取り組みの教材が設けられている。学習上に必要な事項の出典について明記されており、説明が豊富である。            《①③》</p>					

書写		教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果			
光村					
<p><b>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</b></p> <p>全教材に「目標」「学習の窓」が設けられており、学習内容の焦点化を図るよう配慮されている。分かりにくい筆使いや字形について、写真で示したり、図解で示したりし、視覚的にも理解しやすいように配慮されている。文字、図表等、複数の色を使用して指導内容を説明する際は、明確に識別できる色の組み合わせをし、生徒に興味、関心を持たせるよう配慮されている。職場体験の依頼状や礼状、職場訪問新聞、エメール、音楽祭のポスターやコンサートのリーフレット、立て看板など、地域の人々や国際的なつながりを意識した題材を取り上げ、道徳心・社会性の育成に向けた配慮が見られる。 《⑥⑧⑨⑩》</p>					
<p><b>2. 教育基本法に基づく観点</b></p> <p>自分史、DVDレーベルといった取り組みにより、自らの成長を通じて命に目を向け、生命を尊ぶ態度を養うよう配慮されている。いろは歌、漢字の歴史、古文、俳句などの教材、手紙や封筒の書式、気候のあいさつなどの伝統的な定型文や書式、のし紙の書き方など教材があり、我が国の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を育むよう配慮されている。活字やデザイン文字など、伝統表現に興味、関心を持たせるよう配慮されている。 《④⑤》</p>					
<p><b>3. 学習指導要領に基づく観点</b></p> <p>「基礎編」により、小学校での書写学習からの接続を図ったうえで、楷書、楷書と仮名、行書、行書と仮名の調和、楷書と行書の選択、文字の効果的な使い方と段階的に学習できるよう配慮されている。「資料編」では、手紙、はがき、送り状、願書の書き方、学校行事での掲示物、看板、色紙など、日常生活において書写で学習したことを生かし、書写の美術的な観点で習得した能力を学習や社会生活に役立てるよう配慮されている。 《⑤⑨⑩⑬》</p>					
<p><b>4. 外的要素に関する観点</b></p> <p>「目標」「学習の窓」「毛筆で書く」「鉛筆で書く」などにマークを付し、分かりやすく示すよう工夫されている。挿し絵、写真なども豊富で、視覚的にも理解しやすくまとめられている。全般的に、生徒にとって親しみやすく、興味を引き付けるよう工夫されている。 《①②③》</p>					
<p><b>5. 構成・配列に関する観点</b></p> <p>教科書全体を「基礎編」「学習編」「資料編」の3部構成とし、「学習編」を軸として相互に関連できるよう配慮されている。巻頭に「中学校三年間の見通しをもとう」を設け、習得すべき内容を見通したうえで、生徒自身が主体的に学習できるような構成となっている。 《①②③④》</p>					
<p><b>6. 資料その他に関する観点</b></p> <p>巻末に「資料編」が設けられており、「日常の書式」「活用のヒント」「書写事典」に3分類されており、さらに日常生活に役立つ実践資料、学習をサポートする資料も収録されているため、生徒の自学自習の助けになるように配慮されている。 《①②③》</p>					